

自家用有償旅客運送の拡大ではなく 地域公共交通の充実を求める請願書

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

《 請 願 要 旨 》

2019年6月、未来投資会議の答申を受けて決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」（骨太の方針）で、自家用有償旅客運送を拡大し、そのための道路運送法改定法案を2020年の通常国会に提出する方針が閣議決定されました。

自家用有償旅客運送は、バス・タクシーのない地域で住民利便のために例外的、限定的に運行されているもので、運転者は二種免許が必要なく、運行前の対面点呼も義務付けられないなど、安全管理がタクシーに比べて緩い制度です。これを、無限定に、誰でも乗せられ、どこでも行えるように拡大することは、利用者の安心・安全に重大な懸念が生じます。しかも、未来投資会議の審議で竹中平蔵議員は、これをライドシェアの「突破口」にすると述べているように、違法な白タクを合法化するライドシェアの解禁につなげようとする意図が明白です。

地方での交通不便は、安心・安全な公共交通機関を活用し、バス路線の維持、乗合タクシーの充実などで解決すべきです。そのためには、国の助成制度を改善し、補助金を大幅に増額する必要があります。また、障がい者、高齢者らがタクシーを利用する際には、運賃を補助する制度を国の責任で設けて、経済的な負担を軽くして積極的に利用できるようにする必要があります。

これらのことを求め、以下の事項を請願します。

《 請 願 事 項 》

- 1 自家用有償旅客運送の輸送対象・地域等の拡大、道路運送法改定を行わないこと。
- 2 交通の不便な地域において、バス・タクシーを活用した公共交通を充実させるため、国の助成制度を改善し、補助金を大幅に増額すること。
- 3 障がい者、病気療養中の人、高齢者、妊産婦らがタクシーを利用する際に運賃を補助する制度を国の責任で設けること。

氏 名	住 所

取扱い団体
(送付先)

自 交 総 連

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201
TEL 03-3875-8071 FAX 03-3874-4997

バス・タクシー=地域公共交通の充実で どこでも、誰でも、安心・安全な移動を

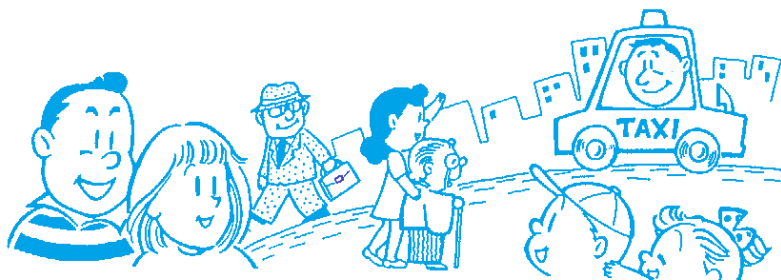
自家用車での運送は安全性に問題

政府は、外国人旅行客の増加や過疎地の交通不便解消などを口実にして、自家用車による「自家用有償旅客運送」を拡大するために道路運送法を改悪しようとしています。

自家用有償旅客運送は、バス・タクシーのない地域で限定的に行われているもので、安全管理の質がタクシーに比べて緩い制度です。これを、どこでも行えるように拡大することは、利用者の安心・安全に懸念が生じます。

地域公共交通への補助金増額を

地方での交通不便は、安心・安全な公共交通機関を活用し、バス路線の維持、乗合タクシーの充実などをはかることで解決すべきです。そのためには、地域公共交通に対する国の助成策を大幅に改善する必要があります。また、障がい者らがタクシーを利用する際には、運賃を補助する制度を国の責任で設けて、



ライドシェアの危険性

- ▲アメリカのライドシェア、ウーバーで2016年、運転者が乗客を乗せる合間に銃を乱射して6人を殺害する事件が発生。
- ▲中国のライドシェア、ディディで2018年5月と8月に若い女性が運転者に襲われ殺害される事件が連続して発生。

自家用有償旅客運送とは

バス・タクシー事業が成り立たない地域で、輸送手段の確保が必要な場合に、市町村やNPOが自家用車で提供する運送サービス

- 運転者は二種免許がなくていい
- 車両は自家用車
- 運行前の確認、アルコールチェックは対面でなくて電話でもいい

経済的な負担を少なくするべきです。

税金の使い方を変えて、地域公共交通への補助金を増やし、誰もが安心・安全に移動できる社会にしましょう。

本当のねらいはライドシェア解禁

自家用有償旅客運送の拡大を決めた未来投資会議の審議では、竹中平蔵氏が、これをライドシェア解禁の「突破口」にすると、本当のねらいを述べています。

スマホアプリで利用者と運転者をマッチングして、マイカーで人を運ぶライドシェアは、運転者の監督、運行管理がされないため、導入した国では事故や殺人事件まで起きて再規制がされています。これを日本で実施することは許されません。

未来投資会議での竹中平蔵氏の発言要旨 (2019.3.7)

日本では既得権益者の猛烈な反対でライドシェアによる成長機会を逃してきた。

自家用有償旅客運送制度を改善する提言は、突破口として非常に重要なポイントとなる。

